

# 山本俊明議員

## 平成25年度の予算編成について

議員 ①来年度予算で目指す方向についてたずねる。

②前市長は財政健全化を目指す中で枠配分の方向をとったが、引き続き枠配分でいくのか。

市長 ①まず公約に掲げた5つの施策を柱として各種施策を推進し、第6次笠岡市総合計画の実現を図つていただきたい。

②当初予算については、総合計画の実現に向けて、戦略的、先行的に取り組む事業などへの政策重点事業への予算配分とともに、公共交通の長寿命化にも配慮して優先的に予算を確保していき、残る部分については、まだ完全に財政が適正化という状況ではなく、枠配分方式を考えている。

## 平成24年度笠岡の教育について

議員 笠岡市の南海トラフ等の地震津波に対する基本的な考え方、対応策について

## 南海トラフ巨大地震について

市長 自助・共助の徹底と事前の避難準備、そして早期避難のできる体制づくりなどの啓発に力を入れていきたい。

議員 ①幼稚園3年保育の位置づけと評価をたずねる。

②総合こども園の建設における教育長の思いをたずねる。

教育長 ①幼稚園では個性を表現させる遊びを通して、幼児の主体性と教師の意図をバランスよく組み合わせ、発達に必要な体験を重視した保育を行つており、3年保育を実施することは成長著しい幼児にとって必要な取り組みであると考えている。



# 樋之津倫子議員

## 空き家対策について

②一つの施設の中で0歳から就学前までの生活ができるということは、家庭との連携が十分に行われ、子育て支援が充実するので望ましいことだと思っており、建設については今後十分検討していただきたい。

議員 ①通学路、防災上の避難経路に面した倒壊寸前の危険家屋について現状をどう把握しているのか。

②持ち主が見つからないなどの場合、市が家屋の除却を行できなか。今後の対策についてたずねる。

市長 ①地域住民の方からの通報により本年度は8月末で4件と把握している。

てたずねる。

市長 自助・共助の徹底と事前の避難準備、そして早期避難のできる体制づくりなどの啓発に力を入れていきたい。



## 一人暮らし高齢者対策について

議員 一人暮らし高齢者の生活実態をより深くとらえるために、これまでの基礎調査の充実に加え、可能な限りの訪問面接による2次調査が必要ではないかと思うが、どうか。

市長 国勢調査のような大规模調査を待たざるを得ないのが現実と、個人情報保護の関係で目的外利用ができない状況にあり、今後とも各種計画等策定時に必要な時期に必要な調査を行う

②所有者に建物を解体する資金がないことが一番の問題であり、除却に要する費用の一部を助成すること等で問題を解決していただきたい。

## 改正後の介護保険制度について

議員 ①改定後の実態をどのように捉えているか。

②新規の施設設置事業が進行しているとのことだが、その経過についてたずねる。

また設置利用者増加に伴う保険料上昇への対応策はあるのか。

市長 ①有識者等による検討や実態を把握した中で行われているものと考えているが、市民にとって不当となるが、関係機関とも連携し、国に対しても改善要望をしていただきたい。

②特別養護老人ホーム100床に20床の短期入所生活介護の併設施設を計画しているが、保険料上昇についても、保険給付費の適正化等を行い可能な限り抑制に努めていきたい。

とともに、実態把握については地域との連携の中で実施していただきたい。